

「現代詩の長女」と呼ばれ
戦後の女流詩人の先頭に立ってきた彼女には、
隠された素顔があった――



作 長田育恵

演出 マキノノゾミ

出演 松金よね子

岡本麗

田岡美也子

木野花

小林隆

小嶋尚樹

古屋隆太

第19回 鶴屋南北戯曲賞受賞作品

グループる・ばる Vol.24 さよなら身終の公演

蜜柑とユウウツ

— 茨木のり子異聞 —

グループ・ばる(田中)
さよなら身終いの公演

蜜柑と ユウウツ

— 茨木のり子異聞 —

作 長田育恵 (てがみ座)
演出 マキノゾミ

詩人・茨木のり子が亡くなってから4か月後のある日。
主を失った家に、甥と編集者らが未発表の遺作を探しにやってくる。
だが部屋の中にはその様子を見守る先客がいた。
3人の「のりこ」と、管理人を名乗る「タモツ」。
異なる時空が幾重にも重なり「茨木のり子」の言葉と人生がよみがえる。
終戦。結婚。そして別れ…。 遺された1冊の詩集をめぐる物語。

「戦後社会の在り様を見詰めた女性詩人の魂と生きた時代を多面的に描き出し、戦後から今につながる時代の空気を感じさせてくれた」と高い評価を得た秀作。

グループ・ばる最終公演として、ついに再演!



松金よね子

岡本 麗

田岡美也子

木野 花

小林 隆

小嶋尚樹

古屋隆太
(青年団)

一度だけのつもりで始まった私たちの芝居は、「愛がなくなったら別れようね」と誓い合って32年。思いの外長く続けました。
毎回、私たちが大好きな人たちと芝居を創り、公演が終われば解散。先のことは考えず、いつも「これが最後」という気持ちで芝居を創ってきたような気がします。でも今回は敢えて【さよなら身終いの公演】と名づけ、グループ・ばるの最後の公演にすることに決めました。決して愛がなくなったわけでも、大好きな人たちがいなくなったわけでもありません。やりたいことはまだあるけれど、その情熱があるうちに、きっぱりと幕を下ろすことを選びました。

そして、身終いの公演に選んだのは『蜜柑とユウウツ～茨木のり子異聞～』です。3年前に初日の幕を開けた時、入りきれないほどのお客様に来ていただき、茨木のり子が作品に残した思いは、多くの人たちに支持されていることを改めて知りました。今、我々を取りまく状況は以前よりずっと悪くなっているような気がします。だからこそ、茨木のり子が伝えたかったその思いを、もう一度しっかり考えてみたいと思いました。
私たちはこれからもそれぞれのフィールドで芝居をしていきますが、グループ・ばるとはこれでお別れです。どうぞ見届けてください。

グループ・ばる (松金よね子 岡本 麗 田岡美也子)



美術: 奥村泰彦 照明: 稲葉直人 (ASG) 音響: 内藤博司 (ショウビズスタジオ) 衣装: 三大寺志保美 舞台監督: 内藤正広
演出助手: 大野裕明 (花組芝居) フロンター: 伊藤桃花 イラストレーション: 荒井良二 宣伝写真: 沖美帆 宣伝美術: 鈴木勝 (FORM)
制作: 有本佳子 (プリエール) 林 弥生 和田幸子 (プリエール) 企画・製作: グループ・ばる <http://lebal.jp>

第306回 2018年 旭川市民劇場 11月例会

11月7日(水) 6:30

8日(木) 1:30

上演時間 = 2時間20分 (含休憩15分)

会場 = 旭川市公会堂

本例会は青少年劇場例会です。
中学生・高校生を無料でご招待します。
詳細は旭川市民劇場までご連絡ください。

演劇で笑ったり、泣いたり、怒ったり。楽しく、大切な時間を、私たちと一緒に過ごしませんか。

旭川市民劇場まで詳しくは

●入会金	2,000円
●会費(月)	一般: 2,500円
	大学生: 1,000円
	中高生: 500円

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。
住所: 旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館2F
TEL: 23-1655

会員募集

次の例会
2月例会
文化座『三婆』
出演: 佐々木愛・有賀ひろみ・阿部教子ほか
2月27日(水) 6:30
28日(木) 1:30